

2019年12月2日

宮崎大学

みやざきCOC+地元定着推進室

高等教育機関が取り組む県内就職率改善対策

みやざきCOC+シンポジウム2019

～「地（知）の拠点」の新たなステージへ～

開催のお知らせ

この度、『みやざきCOC+シンポジウム2019～「地（知）の拠点」の新たなステージへ～』を下記の日程で開催することとなりましたのでお知らせいたします。

今年度のシンポジウムでは、福岡地域戦略推進協議会（FDC）の石丸事務局長をお招きし、「産学官一体で切り拓く地域の未来」をテーマにご講演いただくとともに、「これからの宮崎のマチ・ヒト・シゴトを考える」と題しまして、宮崎県内の産学官の各分野で活躍されているキーマンによるパネルディスカッションを実施いたします。

みやざきCOC+シンポジウム2019～「地（知）の拠点」の新たなステージへ～

【日 時】令和元年12月10日（火） [受付 13:30～]

[シンポジウム] 14:00～17:45（無料）

[交 流 会] 18:00～19:30（会費 4,000円）

【場 所】ニューウェルシティ宮崎（宮崎市宮崎駅東1丁目2番地8）

【URL】

ホームページ <http://www.miyazaki-u.ac.jp/cocplus/information/4829/>

登録フォーム <https://forms.gle/RGsYDWB8atEmuv65A>

2019年
12月10日(火)
 ニューウェルシティ宮崎 2F
 (宮崎市宮崎駅東1丁目2番地8)

【シンポジウム】 **参加費無料**
 14:00～17:45 (受付13:30～)
 【交流会】 **会費 4,000円**
 18:00～19:30 ※会費は当日受付の際に申し受けます。

定員
150名
 要申込

対象：県内企業関係者、本事業協働機関関係者、
 大学等教職員、市町村関係者、学生

基調講演

産学官一体で切り拓く 地域の未来

いしまる しゅうへい
 福岡地域戦略推進協議会 事務局長 **石丸 修平 氏**

経済産業省入省後、大臣官房政策評価広報課、中小企業庁長官官房参事官室等を経て、プライスウォーターハウスクーパース(PwC)に参画。その後、福岡地域戦略推進協議会(FDC)に転じ、2015年4月より現職。九州大学客員准教授。アピスバ福岡アドバイザーボード(経営諮問委員会)委員長、Future Center Alliance Japan(FCAJ)理事、九州大学地域政策デザイナー養成講座エグゼクティブディレクター、九州経済連合会行財政委員会企画部会長等を歴任。中央省庁や地方自治体の委員など公職も多数務める。



パネルディスカッション

これからの宮崎の マチ・ヒト・シゴトを考える

【パネリスト】

島原 俊英 氏 (株式会社MFE HIMUKA 代表取締役社長)
 米良 充朝 氏 (株式会社共立電機製作所 代表取締役 副社長)
 市村 陽亮 氏 (宮崎公立大学人文学部 助教)
 石田 渉 氏 (宮崎県総務部市町村課長)
 重富 裕貴 氏 (ベジエイト株式会社 専務取締役)

【コーディネーター】

土屋 有 氏 (宮崎大学 地域資源創成学部 講師)

みやざきCOC+シンポジウム2019
「地(知)の拠点」の新たなステージへ

お申込み・
 お問い合わせ先

みやざきCOC+地元定着推進室

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
 TEL:0985-58-7250 FAX:0985-58-7793

E-mail:coc@of.miyazaki-u.ac.jp
<http://www.miyazaki-u.ac.jp/cocplus/>



主催：みやざきCOC+推進協議会

(構成団体)

宮崎大学、宮崎県立看護大学、宮崎公立大学、九州保健福祉大学、南九州大学、南九州短期大学、都城工業高等専門学校、宮崎国際大学、宮崎学園短期大学、宮崎県、宮崎県商工会議所連合会、宮崎県商工会連合会、宮崎県中小企業団体中央会、宮崎県工業会、宮崎県経営者協会、JA宮崎中央会、宮崎県経済農業協同組合連合会、株式会社宮崎銀行、株式会社宮崎太陽銀行



「みやざき COC+事業」とは (<http://www.miyazaki-u.ac.jp/cocplus/outline/>)

地域の人口減少対策と、地域産業の活性化を目的に、文部科学省からの補助を受けて2015年10月より事業を開始いたしました。本事業では宮崎大学が主幹校となり、宮崎県立看護大学、宮崎公立大学、九州保健福祉大学、都城工業高等専門学校の4大学・1高専、産業界から宮崎県商工会議所連合会、宮崎商工会連合会、宮崎県工業会、宮崎県経営者協会、宮崎県中小企業団体中央会、宮崎県農業協同組合中央会、宮崎県経済農業協同組合連合会の7団体、自治体としては宮崎県が参加する事業として開始しました。2017年度には金融機関として宮崎銀行、宮崎太陽銀行が参画し、2018年度には南九州大学、南九州短期大学が新たな教育機関として加わりました。更に、今年度からは県内大学の宮崎国際大学、宮崎学園短期大学が参加し、県内8大学・1高専と拡大しています。

【産業人材育成】と【キャリア支援】の2つの柱で推進する本事業では、参画する大学・高専の地元定着（県内就職率）を33.1%から43.1%へ改善するとともに、県内大卒者の3年以内の高い離職率40.7%を35%へと改善する環境整備を目的として取り組んでいます。

【産業人材育成】

2016年度に「みやざき授業配信システム（※1）」を構築し、「地域キャリアデザイン」及び「地域産業入門」の2科目の配信がスタートしました。2017年に16科目の配信授業を新たに作成し「みやざき COC+産業人材育成教育プログラム（※2）」が完成しました。プログラムの所定の単位を取得した学生には「みやざき COC+産業人材認定証（※3）」を授与することとしており、取得学生は県内企業の採用優遇等のインセンティブを受けることが可能です。本プログラムを通じて地域を学ぶ参加大学受講生の合計は、2016年度381名、2017年度754名、2018年度953名と順調に増加しており、2019年度前期は545名の登録がありました。

【キャリア支援】

県内企業の認知や、今の学生の声を企業が知ることを目的として、県内市町村・産業界及びみやざき COC+が連携し「Weekly Work Café」を開催しています。県内大学の全学部・全学年の学生が自由に参加でき、県内企業で働く先輩と普段着のままで気軽に会話ができる交流の場です。2018年度にはみやざき COC+に加え市役所、商工会議所、ハローワークが主催し、宮崎大学をはじめ参加大学やシンポジウム会場等で23回開催しました。参加企業113社、学生422名が参加し、学生のキャリア形成での重要な情報収集の場になっています。県内企業にとってはアピールの場として生産品や仕事の取り組み方も発信でき、インターンシップや採用活動につなげる重要なイベントとなっています。学生と企業がお互いを良く知ることで就職のミスマッチの解消の場としても期待されています。

※1 インターネット授業配信「みやざき授業配信システム」

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/cocplus/student/>

宮崎県は山間部から海岸部まで南北200キロ、東西に100キロと広く、1箇所に集まって学生が授業を受けるには困難な地域です。そこでみやざきCOC+事業ではインターネットを活用した授業配信システムを構築しました。学生がいつでも、どこでも地域を学べるシステムです。このシステムは宮崎大学の基礎教育に科目を設置して、宮崎県内で活躍する人や産業に焦点を当て、授業が構成されています。

※2 「みやざき産業人材育成教育プログラム」科目の構成

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/cocplus/training-program/>

授業は県内を学生の興味により多角的に学べる構成となっています。基本的な受講の流れは1年次に宮崎県での働き方や活躍している方々のキャリア形成について学ぶ「地域キャリアデザイン」と、宮崎県のこれからの産業政策を学び、7つの選択科目の概論を学ぶ「地域産業入門」を履修します。2年次に、今後宮崎県が発展を期待する7つの分野「食品」、「ICT」、「医療・福祉」、「エネルギー・ものづくり」、「国際・観光」、「公務員・教員」、「起業」の全17科目が受講できる構成となっており、県内の産業や活動を多面的に学べる構成となっています。

※3 「みやざきCOC+産業人材認定証」

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/cocplus/careers/>

「みやざき産業人材育成教育プログラム」における配信科目を4科目8単位とそれぞれの大学・高専で単位認定をするインターンシップや研修を1単位以上履修することで「みやざきCOC+産業人材認定証」を発行します。この認定証を取得した学生は県内企業の採用試験について一次面接免除や筆記テスト優遇措置が受けられます。また、ダブルスクールで公務員講座など受講する学生には一部受講料免除が受けられます。

□本件に関するお問い合わせ

宮崎大学みやざきCOC+地元定着推進室

TEL：0985-58-7868

E-Mail：cocplus@of.miyazaki-u.ac.jp

担当：小八重（こばえ）

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/cocplus>